

令和元年度 第2回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:令和元年9月18日(水) 13時30分～15時00分

会場:瑞浪市役所 西分庁舎1階 会議室

出席者(敬称略): 渋谷典子、古澤辰広、浅沼克郎、野田順子、勝股文雄、中山千鶴、
太田鎮一、大竹悦子、津毛信代、最上幸子、鈴木実千江、安藤友美、
伊藤栄里子

〈事務局〉 まちづくり推進部長 景山博之、生活安全課長 三浦正二郎
生活安全課人権啓発係 奥村新子、山崎道美

議題: (1)「第2次みずなみ男女共同参画プラン」進捗報告について
(2)令和元年度 瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(3)今後のスケジュール
(4)その他

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(省略)

2. 座長あいさつ

(座長)暑い夏を乗り切り、再会できてうれしいです。私事になりますが、9月の第2週に神岡に行ってきました。古い知り合いとフェイスブックでつながって、その方に会いに行ったのですが、岐阜県の広さを感じ、また、まちの特色がそれぞれあるなあと思いつつ帰ってきました。今年の夏は、甲子園で瑞浪市の中京学院大中京高校が活躍したり、また40年ぶりに会えた古い知り合いが岐阜に住んでいたりと、より岐阜県が身近に感じられました。また、よろしく願いいたします。

3. 議事

(1)「第2次みずなみ男女共同参画プラン」進捗報告について

(座長)議題1について、事務局から説明願います。

(事務局)資料に基づき一括説明

(座長)事務局からの説明について、何か意見はありますか。

(委員)DVの相談窓口を知っている人の割合が急に上がっているのはなぜですか。

(事務局)これは、市民アンケートの結果を反映させているのですが、設問を変更したことによるものと思われます。従前は「DVの相談窓口を知っていますか？」に対して、「はい」と答えた方が16.6%であったのですが、設問を「あなたが知っているDVの相談窓口を選んでください」に変更し、具体的な「市役所」「警察」などを列記したところ、分からない・無回答を除いた方が61.3%であったということです。おそらく、多くの方は、なんとなく相談窓口があることは知っているけれど、具体的にどこですか？といわれると答えるのは困難、こういうところで相談していることを知っていますか？には「はい」とお答えいただけた、ということと思われます。

(座長)表中にその注意書きがあると分かりやすいかもしれません。次回より対応いただければありがたいです。数値がなかなか上がらないものはありますか。

(事務局)自治会長に占める女性の割合については、なかなか難しいものがあります。昨年度は1人おられました、今年度の4月1日の調査では0人でした。

(委員)何か工夫はしておられますか。

(事務局)担当課にて啓発に努めているところではあります。この表でいう数値は区長の人数の割合となりますが、区長については、各地域で推薦されるものであり、こちらから女性を、と依頼するの

は難しいところがあります。

(座長) 区長の他にはどういう役がありますか。

(事務局) 例えばある地区でいうと、区長、区長代理、会計、3役があり、基本、3役は男性となっているのが現状です。人数が少ない区等の場合は、輪番で女性が務めることもあります。地域性もあり、また業務的にも外に出ることが多いためか、男性が務めることがほとんどです。

(座長) 何かよいお知恵があれば、と思いますが、いかがですか。私は3役に女性が入っているといいなと思ったのですが。

(委員) 当たり前のように男性が務めるものと思っていました。地元では、60歳の男性が務めることになっているので、女性が務めるという発想はありませんでした。例えば、高齢化が進んでしまった団地で仕方なく女性が務める、ということはあるかもしれませんが、私だけでなく、男性がやるものだ、と考えている方が多いと思います。

(委員) 昔の流れだと、世帯主でなくてはならない、というのもあって、基本的にはシングルにも回ってきません。自分が務めた時は女性の班長さんも多かったのですが、女性を、と言わない限りは出てこないのではないのでしょうか。

(座長) 8月末に国立女性教育会館で「男女共同参画推進フォーラム」があり、出かけてきたのですが、これは瑞浪だけではなく、全国的に問題となっていると言っていました。自治会となると男性が仕事を任せられますが、世帯で引き受けるということで、会計事務や書類作成は自治会長の妻がしていることもあります。国は、地域での男女共同参画を進めたいようです。どうしていくのがいいか、これは宿題ですね。お願いいたします。何か他にありますか。

(間)

なければ次に移ります。

(2) 令和元年度 瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長) 事務局から説明願います。

(事務局) 資料に基づき一括説明(資料 2-2、2-3 は提示のみ。)

(座長) ありがとうございます。私も事務局の方と一緒に考えましたので、補足説明させていただきます。金治先生は2年ほど前まで愛知淑徳大学におられ、私はそこで知り合いました。私が労働法の講義の中で、淑徳大学1年生に「育児休業を取りましょう」、と話していたことをきっかけに、金治先生は育休を取られたとお聞きしています。そしてその後、中京学院大学へ赴任されました。考え方がとても柔らかく、阪神淡路大震災のボランティア活動をされる等、研究者というより市民活動家、といった方です。また、名古屋で認知症カフェを開いて、その方たちがどう変化していくか、といったことを研究されています。2人目の三枝先生については、もともと企業におられましたが、留学され、その後大学の組織の中で研究をされておられます。長らく研究されているスウェーデンについて、女性が働き続けられる社会であること、また社会保障が本当に整っていること等を、私も何度か研究会でお聞きしましたので推薦いたしました。3人目の田巻先生は、過労死問題等を担当されている弁護士さんです。私とは、“かえせ☆生活時間”というプロジェクトで一緒しまして、熱心に活動されていました。労働問題を扱う弁護士の方ですので、働くということでお話していただけるかなと思っております。以上3つの案を提案しますので、みなさんのご意見をお聞きし、最終的に決定できれば、と思っております。また、講演会の形式ですが、“かけはし役”において、講師のコーディネーターとして話を引き出すようにしてはどうでしょうか。あらかじめ聞きたいところを集めておいて、答えていただくのもいいと思います。何か形式の工夫をするとよいかと思っています。

(委員) 3つの案について、インターネットで検索してみました。3人ともテーマはワーク・ライフ・ balan

スなのですが、案1か案2を聞いてみたいなと思いました。今、自分が少しまちづくりに関わっていますので、自分たちの活動や生活のヒントとなるかな、と思ったので、どちらかというと案1かなと思っています。2案も、国力の差や文化の差を承知した上で聞けばヒントになるのかなと思います。

(座長)スウェーデンの人口は日本の10%ほど、と圧倒的に人口差がありますので、それを踏まえておく必要はありますね。

(委員)区長が少ないといった地域性を変えていくという観点からすると、案1でアイデアなどをいただくといいかと思っています。

(座長)金治先生が今の中京学院大学に赴任された際、キャンパスは東濃にあると聞いて驚きました。認知症カフェの研究もされているので、今後また何かの形で、瑞浪も研究のフィールドとなるかもしれませんし、そのあたりも巻き込んでお話していけたらいいですね。

(委員)案1がいいと思います。この提案の内容だけでは、どれがいいのか選べなかったのですが、中京高校でお話をされているならば、分かりやすいのではないのかなと思いました。

(座長)私はどの方も存知あげていますが、どの方も大事な仲間であり、それぞれいいお話をされる方々だと思っています。

(委員)少し気楽に聞けるといいなと思います。

(座長)今回は少し手法を変えて、参加者から聞きたいことを集め、話を引き出しながら、というスタイルもいいかと思っています。また、みなさんが地域に戻られて聞きたいことを集めていただくのもいいかもしれませんね。座談会形式もいいかなと思います。

(委員)案1がいいかなと思います。135人の席を埋めたいと考えると、案2や案3だと男性に声をかけにくいような気がします。男女ともに声をかけやすいのは案1かなと思いました。

(座長)大事なところですよ。案1の先生は共働きで子育てをされています。お子さんが病気の時はご苦労もあるようですし、またどうして育休をとったのか、ご夫妻でどんな相談をされたのか、なども聞いてみたいところです。

(委員)確かに聞いてみたいです。

(座長)大学側の受け入れ体制についても聞いてみたいですね。

(委員)私も案1がいいと思います。案2だと政策上の問題かと思いますが、案3だと実生活にすぐ活かせるかというところがあると思いますが、案1は、生活にすぐに役立つヒントがもらえそうだと思います。

(委員)案1がいいと思いました。いろんなことが盛り込まれているのがいいと思います。私も認知症カフェを5年前から始めました。健康年齢をどう保つか、また認知症カフェによる変化、などについて聞いてみたいと思います。

(座長)みなさん案1に賛同されている方が多いようですが、事務局の方、いかがでしょうか。

(事務局)みなさんのお話をお聞きしていると、金治先生のお話が、身近でテーマも幅広く、お話を聞いてみたいという雰囲気を感じましたが、どうでしょうか。

(座長)自治会のありよう、などもテーマに入れ込んでいただくよう依頼していただいて、地域の状況についてお話いただくのもいいかもしれません。それでは、案1で進めてよろしいでしょうか。

(委員)(賛同)

(座長)あとは形式ですが、①講演会と質疑応答の形式、②かけはし役をおいて聞きながら進めていく方法、③講演会と参加者の何人かとパネルディスカッション、等があります。

(委員)講師の方も言いたいことがあると思うのでまずはお話いただいて、その後できれば、トークの時間もとってほしいなと思います。

(座長)講演会の時間はどのように予定していますか。

(事務局)13時半から15時頃を予定しています。初めの導入部分も含めての時間です。講演1時間、質疑応答15分、でしょうか。変更は可能ですので、講師の先生にも確認はさせていただきたいと思っています。

(座長)後半のトーク用に、例えば、認知症カフェの手法や効果、瑞浪市でのまちづくり活動例へのアドバイス等、聞きたいことをまとめて事前に依頼しておけば、対応可能・不可能も含めて答えていただけるかと思います。推進会議主催の事業であるので、みなさんも聞きたいことを積極的に聞いていただけるといいかなと思います。

(委員)まちづくりでいえば、地域と行政との協働といっても、例えば“ふるさとかるた”を作る等、どこも同じような横並びとなっている現状があるので、新しい視点をもっておられるのかなど思ったりもしましたし、先ほど出たご意見で、自治会については、出てくるのが男性ばかり、女性は初めから引いているという社会的な慣習があります。根底から意識を変えていくような話が聞けたら最高だなと思います。男性ばかりであることを女性自身が問題だと思わないのに、例えば「何年かに1回は女性を出すように」と言ったとしても反発がきてしまいます。意識を根底から変えていくということは難しいかとは思っていますが。

(座長)意識を変えるには、1回の講演では無理だとしても、何回もあきらめずに繰り返していくしかないと思っています。

(委員)社会福祉協議会の稲津支部で、地域のお年寄りを対象に、認知症カフェを月に1回やっていますので、金治先生のお話を聞いてみたいと思います。

(座長)例えば、名古屋市と瑞浪市のやり方の比較などは大切だと思います。

(委員)地域課題の解決法に興味があります。まちづくりといってもなかなかまとまらず、何かやろうと思っても難しいのですが、去年「かまどフォークジャンボリー」というフォークイベントを起ち上げまして、今年も22日にコミュニティセンターで開催します。出演者を募集したところ、15組も出場してくれることになりました。16時から20時ころまで、歌っていただきますので、とにかく人を集めたいと思っています。制約もあって大変ですが、地区の方々や青年団の協力もあり、五平餅や焼き鳥の出店もあります。チラシは息子が作りました。

(委員)いいチラシですね。

(委員)もし時間がありましたらみなさんもぜひご参加ください。

(座長)話が脱線するかもしれませんが、地域のイベントといいますと、私の住んでいるマンションには1,200世帯ほど住んでいて、夏にお祭りをします。夫がこの祭りに関わっていて、いつも「祭りは災害に役立つ」と言っています。つまり、祭りを機会に顔見知りになれるし、またテントを立てたり、鍋を出したりすることが災害時の練習になるというわけです。イベントが、まちづくりだけでなく、防災というもう一つ別の意味を持っているね、と家で話したことを思い出しました。市民向け講演会の際、先ほどのイベントのお話のように、瑞浪市でやっていることを発表して、金治先生からのアドバイスをいただく、というのもいいかもしれません。先生にせっかく来ていただくのですから、身近で、何か瑞浪につながるものになってほしいと思います。

(委員)私は、1時間の講演と質疑応答がいいと思います。またあらかじめ申込書に質問事項や現在実施している活動等を書いていただくのはどうかと思います。それから、自治会で自分が体験したことですが、私の地区では、区長の下に、組長があり、家順にまわってきます。夫が海外赴任だったので私が務めることにしましたが、組長名簿には夫の名前が載っていました。通帳も夫の名前で作るように言われたのですが、本人不在のため作れず、結局私の名前で作ることになり、なぜ？と思いました。女性にやる気があっても、どこか難しいところがあると思います。

(座長)男性には「騎士(ナイト)精神」もあるといいます。職場でも女性の部下を持つと、男性は騎士

精神を発揮して、男性部下につらい仕事を、女性部下に少し楽な仕事を割り振ることがあるようです。他に、男性が務めるものだという“思い込み”もあるのかもしれませんが。この二つが作用して、そういうことになったのだと思います。体験談を聞いてよかったです。そういった状況を何とか打開するにはどうしたらいいのか、それが課題ですね。

(委員) 申込書に質問を書く、というのは私もいいと思います。そして釜戸地区のフォークのチラシ、いいなあと思いました。この講演会案の文書もそうですが、役所の文書は分かりにくいと思います。もっと一般の方に分かりやすく書いてもらおうと、質問もしやすいです。最近、市の人権に関するアンケートが、友人2人に届きました。1人は仕事をしているからかさほど何とも思わなかったようですが、もう1人は専業主婦です。質問が多く、わけが分からないから出せない、と言っていました。見せてもらおうと、自分としては割と分かりやすいのではと感じましたが、やっぱり、難しいと感じる人もいるのかな、ただ、簡単な言葉で表現するのもそれはそれで難しいのかもしれない・・・と思いました。今回の講演会案についても、もう少し講師について具体的に、分かりやすく書かれていたら、事前に質問を考えて来られたかなと思います。

(座長) そういう工夫ができたらいいですね。

(委員) 難しいとは思いますが、よろしくをお願いします。

(委員) 人を集めなくてはいけない、という話がありましたが、私は今年度からの参加なので、どういう状況でどうしたいのかがよく分かりません。人が集まらないから集める努力をしなくてはいけないのか、それともある程度集まってくるのか、といったことを知りたいです。

(座長) 私の感覚では、年度によってアップダウンがあって、何ともいえません。比較的多くの方が集まったこともありますし、そんなに集まらなかったこともありました。

(事務局) 基本的には100人程度を目指しますが、テーマによるところがあります。昨年度のように子育て世代に焦点をあてたので、託児所も設けて、30人ほどの方に参加いただきました。今回は目標100人程度でどうでしょうか。まちづくり、子育て、認知症、と様々な内容で金治先生にお話しただければ、幅広い年代の方に多く来ていただけるかと期待します。かつ、地元の大学や高校の生徒さんも来て下さるといいなと思います。MAX135人となってはいますが、それ以上であっても椅子のみ等にすれば対応は可能です。

(座長) いかがでしょうか。

(委員) 何となくイメージができました。人を集めたいですね。

(事務局) せっくなので多くの方に聞いていただきたいです。

(座長) そうですね。そして、聞いた人が“自分事”として考えてほしいですね。

(委員) さっきお話がありましたが、行きたいと思うような事前の宣伝が大事だと思います。

(事務局) 参加者のみなさんのご協力も得て、分かりやすく柔らかい、いい宣伝ができるといいかなと思います。

(委員) もう少しプロフィール等で先生がどういう方かを理解した上で、みなさんに「いいお話なので、ぜひ来てください」と声をかけるのが私たちの仕事ですよね。そこが大事だと思います。

(委員) 金治先生に決定したら、子育て世代のみなさんに声をかけたいのですが、託児の予定はありますか。

(事務局) 対応可能です。

(座長) 一つの案ですが、例えば、最初に私たちの“推進会議”の位置づけ等の話をさせてもらい、その後、金治先生のお話を聞いて、続いて市内8地区のまちづくりについて2分ずつ発表してもらって、金治先生からのコメントをもらったり、出席者からの話をしてもらったり、といった進め方はどうでしょうか。そうすると、金治先生の話が、瑞浪に近づいてくるかなと思うのですが、いかがでしょうか。

(委員)方向性を考えた時、まちづくりとなると広がってしまうので、そこに“男女共同参画”がないといけないのかなと思います。また、地区ごとの2分発表は難しいのではないのでしょうか。例えば、まちづくり等に関わっておられる方々に声をかけて、5つか6つの質問をお願いするのはどうでしょうか。それ以上質問が出ると、時間不足で混乱してしまうのでは、とも思いますので、その程度でいかがでしょうか。話を聞く前に質問を考える、というのも難しいようにも思います。実際の講演を聞いて、そのお話の中の疑問点を聞いてもらうのがいいと思います。まちづくりの方や、高校生にも参加してもらい、ぜひ質問をしてほしいです。

(座長)8地区すべて、というのは難しいかもしれませんね。事務局、まとめをお願いします。

(事務局)それでは、①1案の金治先生に決定、②講演とトークタイムあり、③申込時にも質問を集めて先生に対応を依頼、の3点は決定いたしました。講演会の形式等の詳細については、まだお時間がございますので、座長に間に入らせていただきつつ、金治先生と打合せを進め、出席者との距離の近い講演会となるよう進めて参ります。本日の時点でのイメージとしては以上です。

(座長)男女共同参画推進のための講演会ですので、まちづくり等の活動に、いかに男女共同参画の視点で取り組んでいくかが重要です。そこは金治先生にもお伝えしたいと思っています。まだまだ進んでいない地域の男女共同参画の現状というものを、まちづくりや子育て、認知症カフェ等を通じて伝えていけば、みなさんと共有できるのかなと考えています。何か他にありますか。

(間)

それでは、講演会については、よろしくをお願いします。次に移ります。

(3) 今後のスケジュール

(座長)今後のスケジュールについてです。市民講演会及び第4回推進会議の日程は決定しております。なお、第4回の推進会議は、講演会終了後に開催しますのでお願いします。第3回推進会議の日時や曜日について、何かご希望等があればお願いします。第3回では、講演会の準備を行います。

(事務局)昨年度は2月に行っていますが、ギリギリになってしまうので、1月末までに開催できれば、と考えています。

(委員)1月15日は都合が悪いです。

(事務局)承知しました。

(座長)チラシはいつ頃できますか。

(事務局)講師の先生と打合せ後になってくるかと思います。3/1 広報に掲載しようと思うと、1月末頃が締切となりますので、第3回の会議時には完成しているかもしれません。

(座長)では、そのチラシで誘っていただけますね。もっと早く完成したら、必要な方には会議前であってもお渡しできるといいですね。それでは、そのようなスケジュールでよろしいでしょうか。

(委員)昨年度の講演会の際、今日欠席のメンバーが、ギターを弾いてみんなで歌をうたいました。今年度もやるのなら、事務局の方で打合せをしてもらうといいかもしれません。

(座長)参加者で合唱団を作って、講演前にみんなで歌を歌うことを2年ほど続けています。今年度も歌うということでもよろしいでしょうか。3月11日が近いということもあり、「花は咲く」や「ふるさと」を歌いました。差し支えなければ、事務局から委員へ連絡願えますか。

(事務局)承知しました。昨年度は本番直前に歌の練習をしましたが、今年度は第3回会議の際、練習するのもいいかもしれません。

(座長)よろしくをお願いします。他に何かありますか。

(間)

それでは、次に移ります。

(4)その他

(座長)その他の事項について、事務局から説明願います。

(事務局)下記について案内

- ・「市制 65 周年記念 男女共同参画講座 LGBT/SOGI を理解し、多様性を認め合う社会を創ろう！」
- ・キャリアアップ講座「私らしく働くために」
- ・「イクボス養成学習会」
- ・「瑞浪市防災リーダー養成講座」
- ・「ちょっといい話」作品募集
- ・人権書道展の作品募集

(座長)「瑞浪市防災リーダー養成講座」を受けてくださる女性が増えると、資料1の基本目標2にある「女性の瑞浪市防災リーダー認定数」の数値に反映されますね。よろしく願います。

それでは、これで議事がすべて終了しましたので、事務局に進行をお返します。みなさん、ご協力ありがとうございました。

(事務局)スムーズな進行をありがとうございました。これで議事がすべて終了しましたので、これもちまして、令和元年度第2回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を閉会します。長時間にわたりお疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会